

施工手順書

対応屋根材：粘土瓦
 対応地域(積雪量)：一般地域(0~30cm未満)/積雪地域(30~100cm未満)/多雪地域(100~200cm以下)
 対応勾配：2.5寸~
 防火仕様：あり
 ※ 躯体の構造・工法に応じて、必要な換気機能が発揮される形でご使用ください。
 ※ 屋根断熱工法においては、通気層の連通や通気層毎の棟換気の設定など、必要な換気機能が
 発揮される形でご使用ください。
 ※ 記載された仕様・デザインなど、予告なしに改良・変更することがありますが、ご了承ください。

瓦換気960



※QRコードより、最新の施工手順書および施工動画を予めご確認ください。

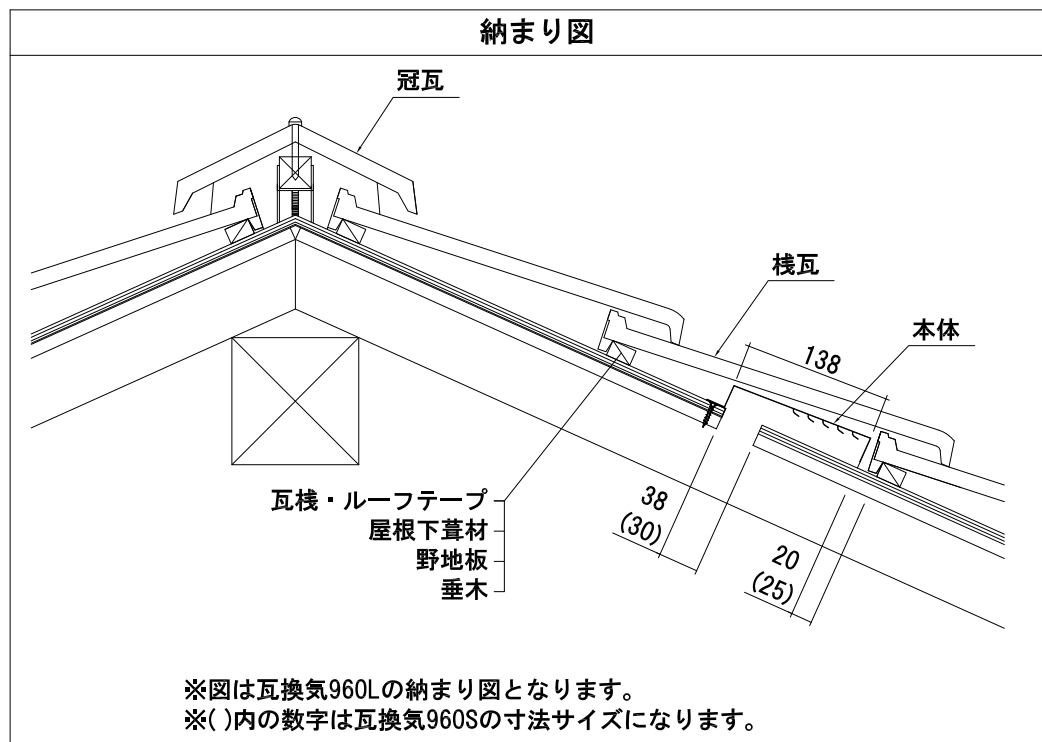
■本体サイズ・付属品一覧

付属品

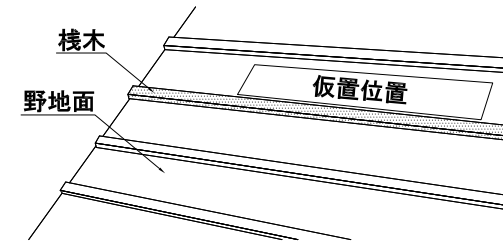
本 体 (瓦換気960L)		本体固定ビス	防水テープ
 瓦換気960L カラーGL鋼板 0.35mm 1本 ※防火仕様は本体に熱膨張材支持板が付きます	断面寸法 	28 三価クロメート処理 スチール 予備1本含む 本数 6本	 長さ1480mm×幅50mm 1枚

本 体 (瓦換気960S)	
 瓦換気960S カラーGL鋼板 0.35mm 1本 ※防火仕様は本体に熱膨張材支持板が付きます	断面寸法

品 名	品 番	全長	有効長さ	有効開口面積	対応天井面積	対応瓦形状
瓦換気960L	K-TU33BK KB-TU33BK(防火仕様)	996mm	960mm	232cm ²	37.1m ²	F型・M型
瓦換気960S	K-TU32MS KB-TU32MS(防火仕様)	996mm	960mm	166cm ²	26.5m ²	J型・S型



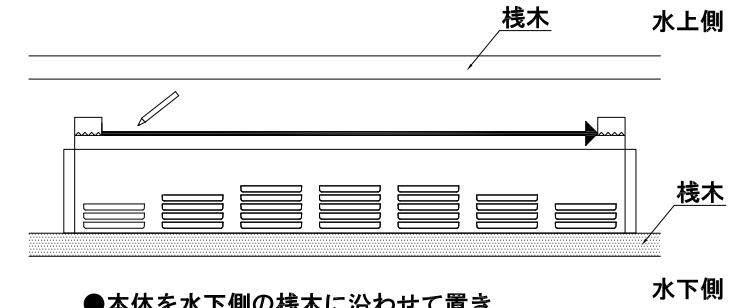
①仮位置決め



●本体は棟木の施工後に取り付けます。
 設置位置は棟側から見て2段目の棟木間になります。

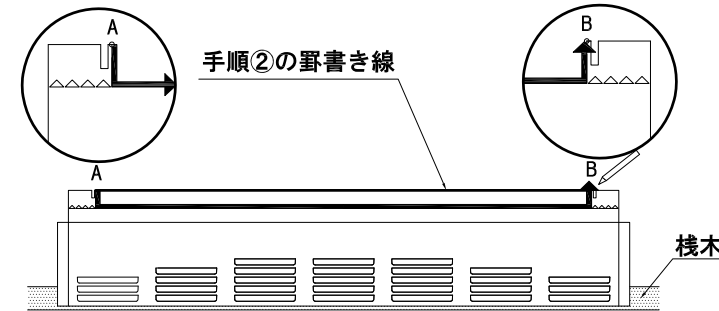
※方形屋根形状の場合は本体(L=996mm)の取り付けができる位置に位置決めを行ってください。

②開口位置の罫書き1



●本体を水下側の棟木に沿わせて置き、
 窪みの外形ラインに合わせて線を罫書きします。
 (図の→を参照)

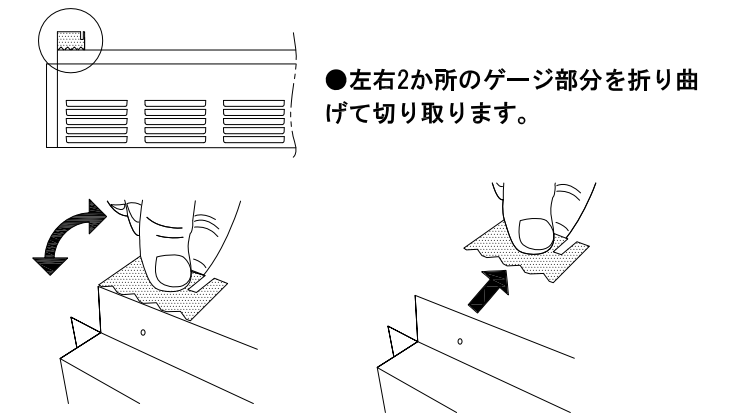
③開口位置の罫書き2



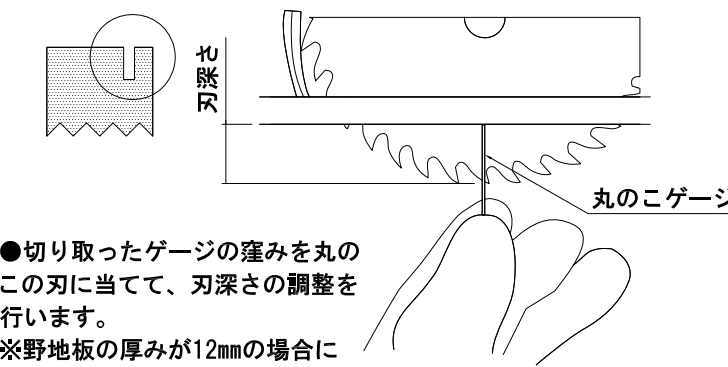
●本体を水下側にずらして本体のエッジA、Bを手順②の罫書き線に合わせます。上図のように外形ラインに合わせて線を罫書きします。(図の→を参照)

※開口寸法は38mm×870mm (瓦換気960Sの場合は30mm×870mm)

④ゲージ切り取り

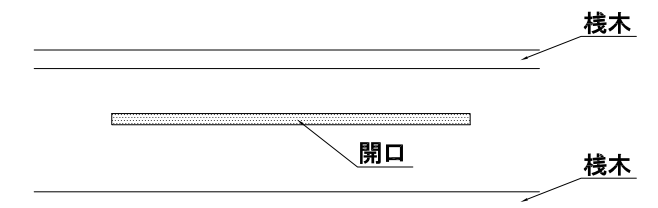


⑤丸のこゲージの利用(野地板12mmの場合)



●切り取ったゲージの窪みを丸のこの刃に当てて、刃深さの調整を行います。
 ※野地板の厚みが12mmの場合に適切な刃深さに調整が可能です。

⑥開口を形成する

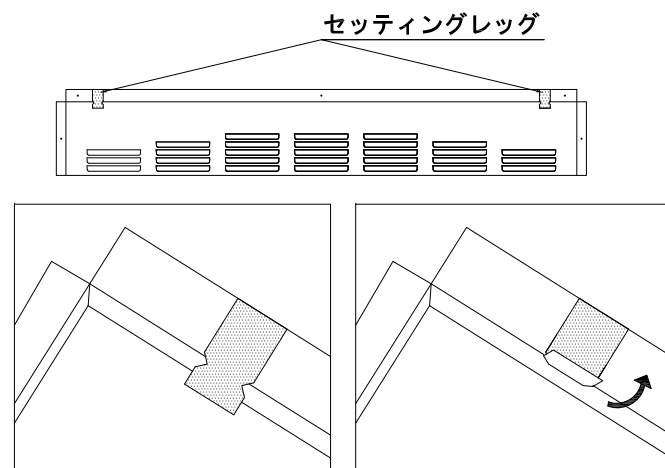


●開口位置を罫書いた線に合わせて、屋根下葺材と野地板を切り抜いて開口を形成します。

※開口寸法は38mm×870mm
 (瓦換気960Sの場合は30mm×870mm)

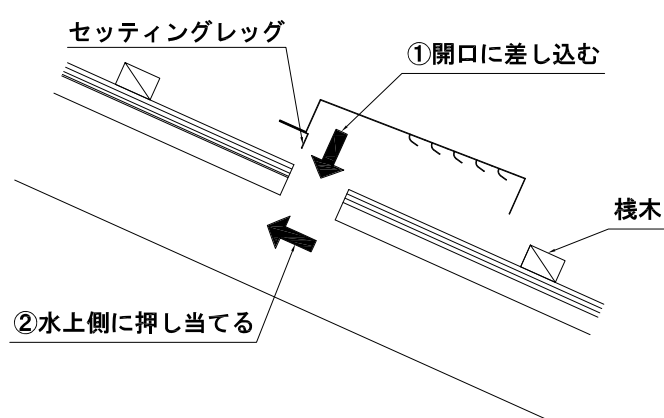
⑦セッティングレグの加工

■本体裏面から見た図



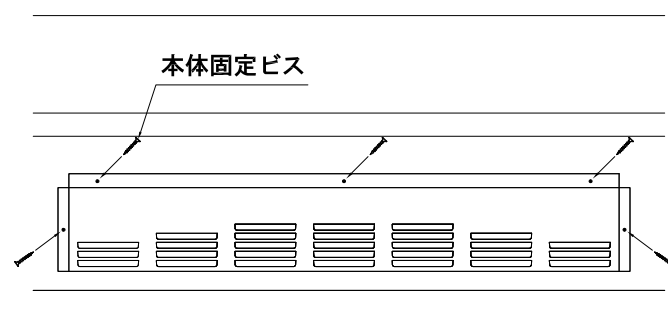
●本体裏面にあるセッティングレグ(2箇所)を上図のように折り曲げてください。

⑧本体位置決め



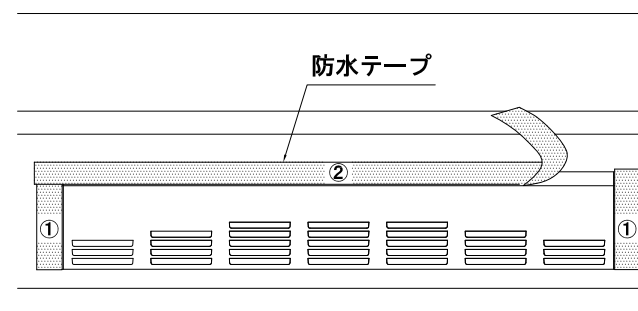
●上図のようにセッティングレグを開口に差し込み、水上側に押し当てて本体が止まる位置が取り付け位置になります。左右の位置は本体中心をできるだけセンターに合わせてください。

⑨本体の施工



●手順⑧の本体位置決めをした後に、本体の下穴(5箇所)に本体固定ビスで留め付けます。

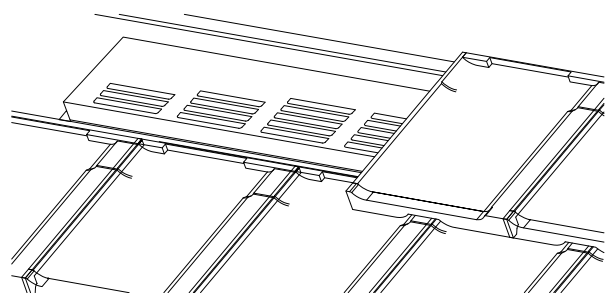
⑩本体の防水処理



●付属品の防水テープを①本体の側面側、②本体の水上側の順に貼り付けます。

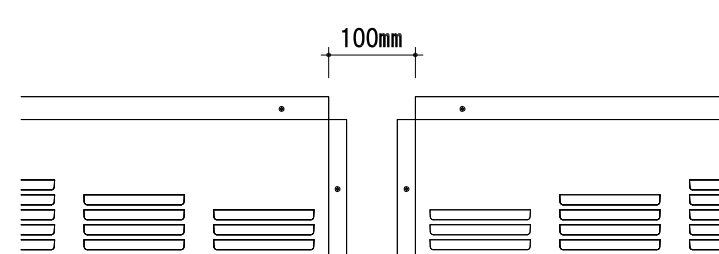
※防水テープは、空気が入らないよう十分に接着させてください。

⑪屋根材の施工



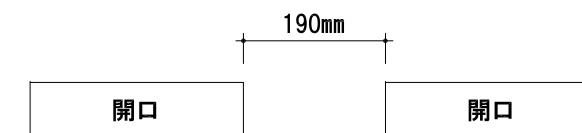
●屋根材を葺き上げれば完成です。

■連続施工時の施工方法



●連続施工は、本体同士を100mm空けて施工してください。

■連続施工時の開口間寸法



株式会社 トーコー
〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1208番6号
TEL 0743-71-0151 FAX 0743-71-0551

E-mail : support@metal-toko.co.jp
URL : http://www.metal-toko.co.jp